



# 17の数字で 振り返る 2018年自社EC



完全版

フューチャーショップ社調査



自社Eコマースの顧客像を、  
futureshopシリーズの利用状況からヒモ解きます。



VS



VS



2019年最新版のホワイトペーパーは  
下記からご請求いただけます！

[https://www.future-shop.jp/magazine/form\\_whitepaper\\_2019ec.html](https://www.future-shop.jp/magazine/form_whitepaper_2019ec.html)



# futureshop運営状況



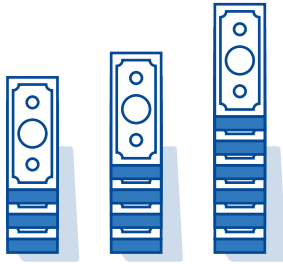
## 全店舗流通額

2018年

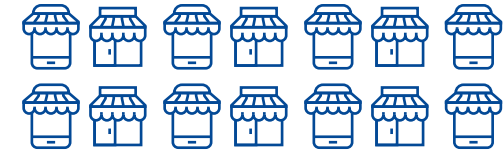
1085億円

2017年 968億円

2016年 826億円



## 稼動店舗数 (12月末)

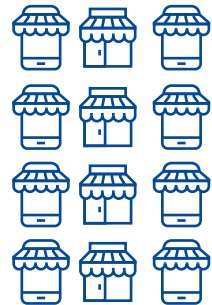


2018年

2400店舗

2017年 2300店舗

2016年 2200店舗



## 年間受注件数

2018年

1017万件

futureshopを通して、1時間に約1161件お買い物

2017年 944万件

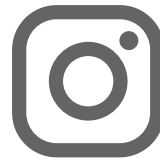
futureshopを通して、1時間に約1078件お買い物

2016年 782万件

futureshopを通して、1時間に約892件お買い物



## Instagram機能利用店舗 (12月末)



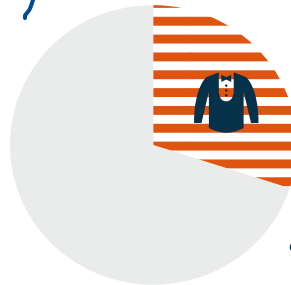
563店舗



## 導入店舗の特色

約30%が  
アパレル・ファッション関連。

コスメや食品・スイーツの店舗様にも  
多数ご利用いただいています。



30%



(レディース・メンズファッション、バッグ・小物・ブランド雑貨、ジュエリー・腕時計、靴)



## futureshop omni-channel 導入社数

2018年

50社 ※店頭では900店舗弱で稼働しています。

2017年 32社

※店頭では600店舗弱で稼働



# 1 commerce creator 利用状況

2019年1月末時点、  
**320店舗**突破!

※開店準備中を含む

あなたの ECサイトにフィットする  
パーツを作って組み立てる。

コマースクリエイター  
commerce creator



## 自社ECのお客様像

**全稼動店舗の会員**  
(のべ人数・12月末)

2018年 **2281**万人

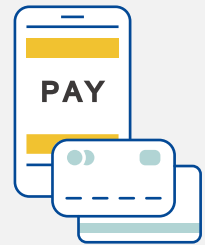
※オーストラリアの人口とほぼ同じです。

2017年 1886万人

2016年 1474万人



Amazon Pay  
年間受注件数



2018年

**148**万件

2017年

118万件

futureshop内でのAmazon Pay経由の  
年間流通額は**140億円**超え。

**10** 外部IDと連携※した会員  
(のべ人数・12月末)

※LINE ID連携、Amazon Payの外部ID連携済み会員数。  
2018年12月末現在。

2018年 **304**万人

※前年同月より約120万人増加。

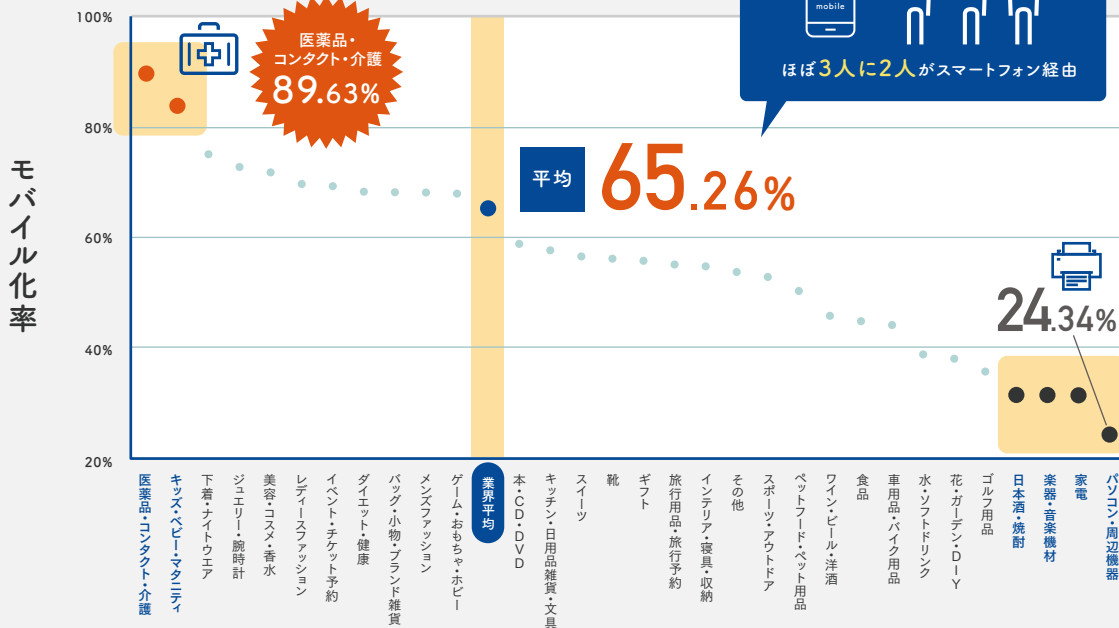
2017年 187万人

2016年 80万人



## 業種別モバイル化率

全業種平均は65.26%。3人に2人はスマートフォン経由で決済。  
業種別に見ると、バラツキが出る結果となりました。



### 主業種



スマートフォンで  
決済される傾向にある商材

医薬品・コンタクト・介護 キッズ・ベビー・マタニティ



89.63%



83.80%



PCで決済される傾向にある商材

日本酒・焼酎 楽器・音楽機材 家電 パソコン・周辺機器



31.51%



31.49%



31.44%



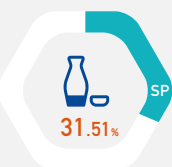
24.34%

### 興味深い結果として

ワイン・ビール・洋酒



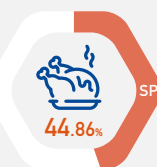
日本酒・焼酎



スイーツ



食品



レディース・メンズファッション、  
バッグ・小物・ブランド雑貨



靴



など、同カテゴリーに見られがちな商材でも差が出る結果となりました。

# 12

## 平均注文額 (デバイス差)

PCはスマートフォンの**1.15倍**。  
※2018年継続店舗限定



年々デバイス差が狭まっています。



→2016年は**1.29倍**、2017年は**1.20倍**

# 13

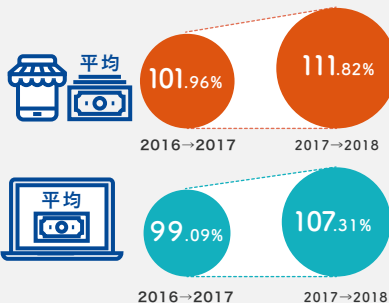
## 平均注文額 (デバイス別前年比較)

12.でデバイス差が狭まった原因は？  
その疑問を調査しました。

平均注文額の変化を前年と比較すると、  
2018年は両デバイスとも上昇。

スマートフォン経由がより高いことが、  
理由だと読み取れます。

### 平均注文額 (前年比較)



# 14

## 曜日・デバイス別購入状況 (件数)

水曜日の購入件数を基準としました。

2018年は水曜日がお買い物気分最高潮。

突出した数字が見られないのは、もはやECでのお買い物は浸透済み？  
土曜日のPC経由の購入が比較的低いのは、実店舗に足を運んでいるから？

※2017年は金曜日がお買い物気分最高潮。

	日	月	火	水 (基準)	木	金	土
全体	99.77%	97.40%	96.75%	100.00%	96.13%	96.77%	94.22%
PC	95.51%	99.79%	97.17%	100.00%	94.64%	95.44%	90.23%
SP	102.06%	96.11%	96.52%	100.00%	96.93%	97.49%	96.36%

## 週末

### 週末(土日)に購入される商材

※土日平均110%を超える業種をピックアップ

アパレル・ファッション、そしてゲームなど感性に訴えかける業種が週末に購入されているようです。

バッグ・小物・ブランド雑貨



127.20%

靴



124.56%

下着・ナイトウェア



115.30%

ゲーム・おもちゃ・ホビー



114.76%

レディースファッション



113.26%

メンズファッション



113.11%

ジュエリー・腕時計



111.35%

### 週末(土日)に購入されない商材

## 平日

※土日平均90%を下回る業種をピックアップ

「美容・コスメ・香水」などは自分の定番商品が決まっている(無くなりそうなタイミングで購入する)からでしょうか？

美容・コスメ・香水



71.13%

イベント・チケット予約



78.54%

花・ガーデン・DIY



79.24%

ゴルフ用品



84.07%

パソコン・周辺機器



86.40%

ギフト

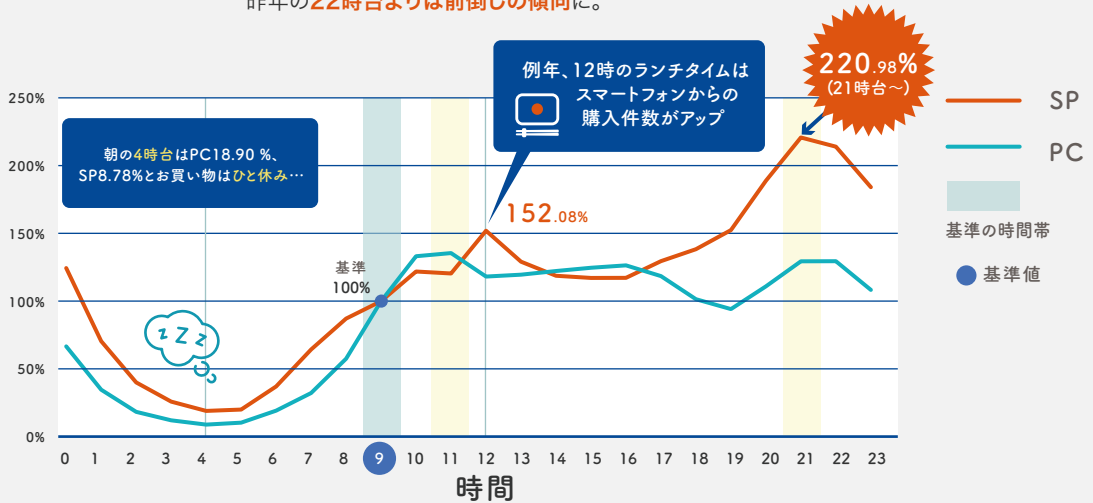


89.12%



## 時間帯別購入状況 (件数)

- ・例年、12時のランチタイムはスマートフォン購入率が上昇(152.08%)
- ・PC経由の購入ピークは11時台の133.22%、スマートフォン経由は21時台の220.98%と、昨年の22時台よりは前倒しの傾向に。

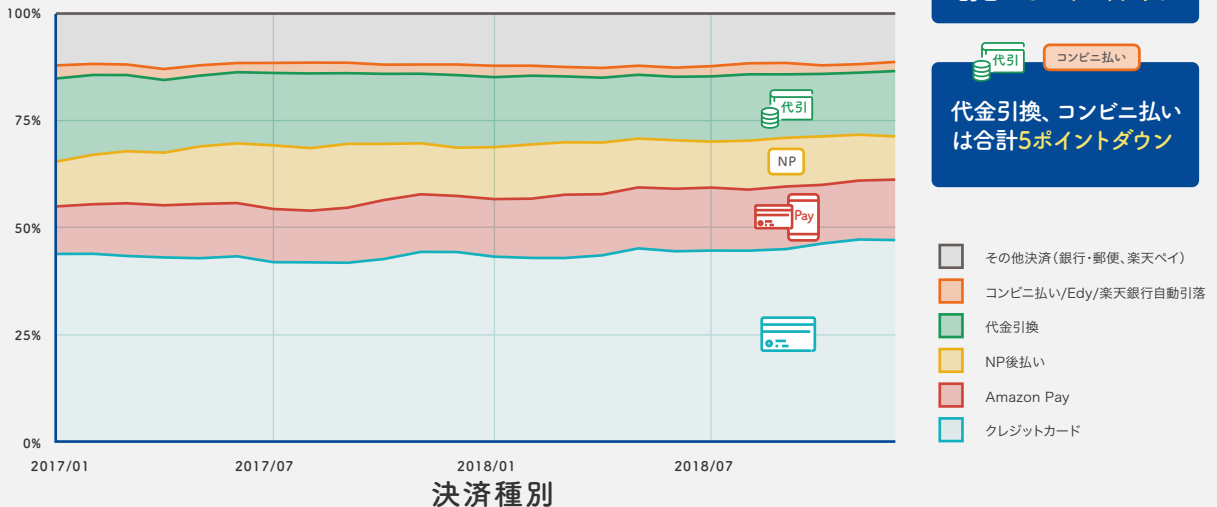


業種別の特長では、21時台はスマホ経由の「キッズ・ベビー・マタニティ」が基準よりも462.99%、「本・CD・DVD」が688.44%など、高い数値を見せています。一息ついて商品を購入される方が増える時間帯なのかもしれませんね。



## 決済種別推移 (決済件数)

2017年1月~2018年12月の決済種別推移のグラフです。



前年同月比較でも割合が変化。月の影響ではなく、長期的なトレンドと考察しています。

決済種別	2017/01	2017/12	2018/01	2018/12
クレジットカード	43.84%	44.29%	43.21%	47.08%
Amazon Pay	11.10%	13.10%	13.44%	14.12%
NP後払い	10.46%	11.27%	12.12%	10.10%
代金引換	19.43%	16.95%	16.36%	15.25%
コンビニ払い/Edy/楽天銀行自動引落	3.06%	2.48%	2.66%	2.14%
その他決済 (銀行・郵便、楽天ペイ)	12.12%	11.91%	12.20%	11.31%

# 17

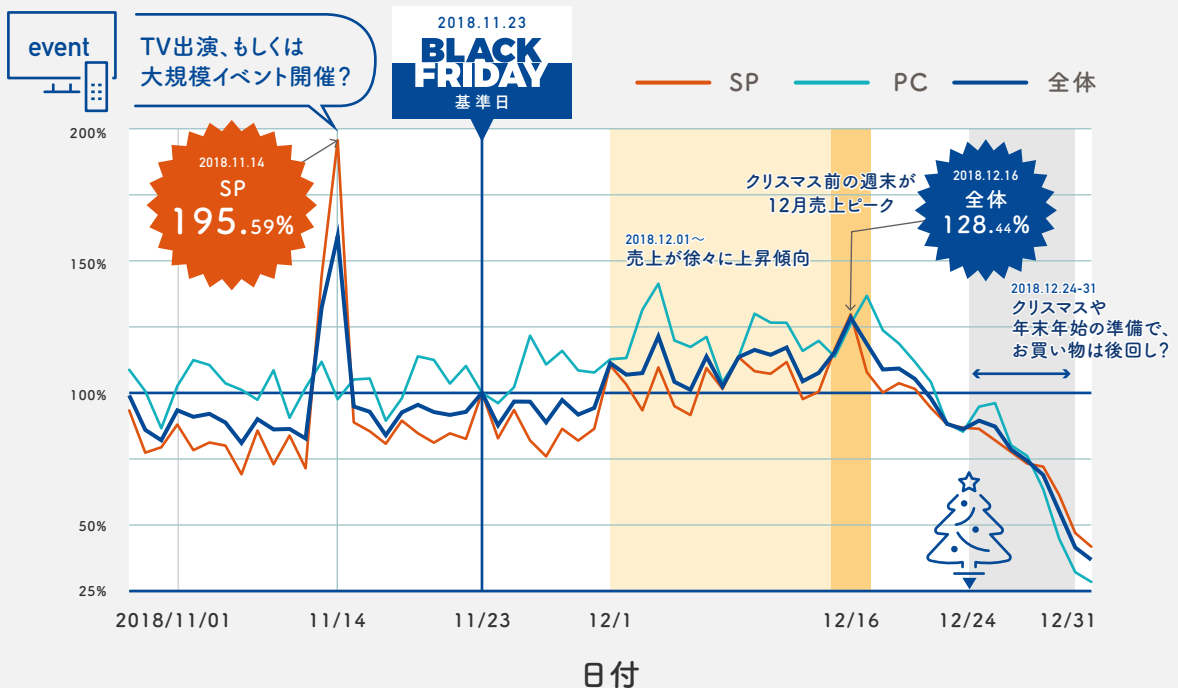
## 2018年年末商戦(11月1日~12月31日)調査結果

2018年11月23日(アメリカの**ブラックフライデー**)の売上を**100%**とした、日々の売上推移です。

**11月中旬、スマートフォンの売上が跳ね上がっています。**これはブランドのTV登場時やセール開催時の動きなのですが、こうした際に必要になってくるのは**アクセス処理対策**です。年末年始のイベント時で、大量のアクセスが予想される際には事前にご相談ください。

**ブラックフライデー前後1週間はスマートフォン経由の購入が停滞気味。**欲しいものを見定めている期間なのかもしれません。12月を迎えると、売上が上昇。**クリスマス前の週末が売上のピーク。**その後年末にかけて売上が落ち着いていく動きを見せています。

12月上旬から中旬に向けてのお買い物気分の盛り上がりに向け、年末商戦に備えたいものです。



## 2018年自社ECまとめ

### スマートフォン



3人に2人がスマートフォンで決済完了。受注単価も上昇傾向。大規模イベントやセール時は大幅にアクセスが増加。

### omni-channel



50社、店頭では900店舗で稼働中。お客様が実店舗EC間を行き来しながらお買い物をする流れに対応するように、導入数が年々増加。

### クレジットカード



クレジットカードを利用した決済方法が、代引きやコンビニ払いを利用した決済シェアを奪いつつあります。

### クリスマス



年末商戦は12月1日~クリスマス一週間前の週末がピーク。2019年はこの時期のキャンペーン開催や在庫確保などを念入りにおきたいものです。



株式会社フューチャーショップ  
Future Shop co.,Ltd.

大阪本社

〒530-0011 大阪市北区大深町4番20号  
グランフロント大阪 タワーA 24階  
TEL:06-6485-5200 FAX:06-6485-5500

東京支社

〒106-0032 東京都港区六本木一丁目4番5号  
アークヒルズサウスタワー 3階  
TEL:03-5797-7807 FAX:03-5797-7806

Eコマースのご相談は記載の電話またはメールにてご連絡下さい。

 **futureshop**  **omni-channel**  
<https://www.future-shop.jp/>  
mail: support@future-shop.jp

**050-3628-3368**

平日9:30-18:00

ご契約者様は、サポート06-6485-6485 (平日10:00-17:30) にご連絡ください。

2020年04月底